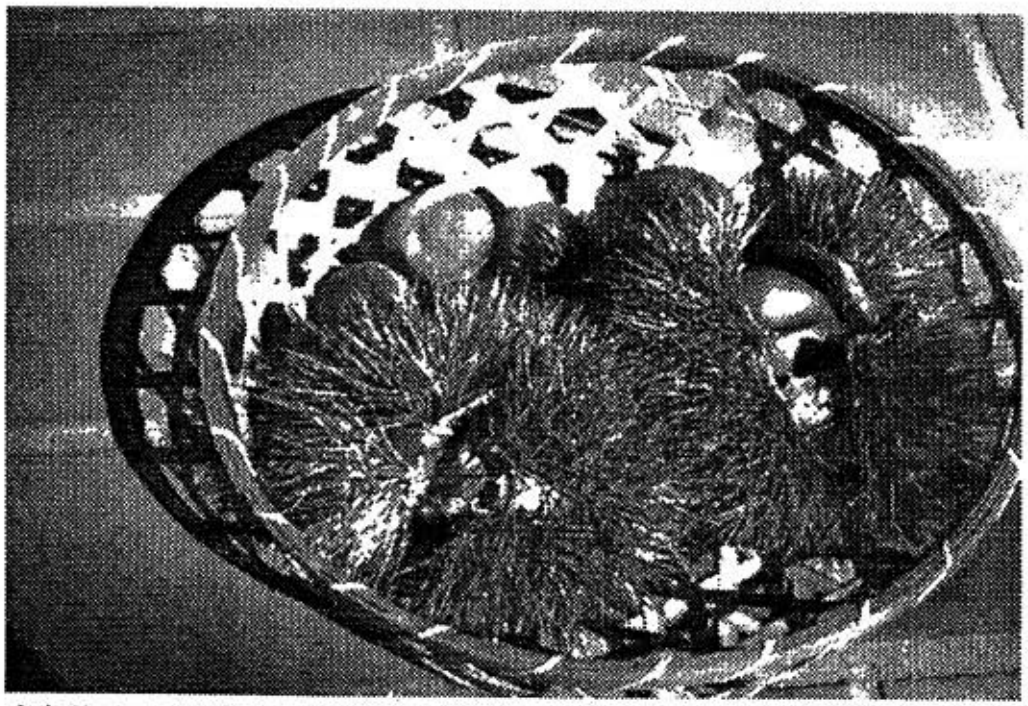
ぱらボラ

96.10.25
第5号

発行：東灘・地域助け合いネットワーク
〒658　神戸市東灘区住吉東町2-3-28　東灘区役所中庭事務所
TEL 078-843-4029 FAX 078-842-2907
e-mail tasukeai@mxb.meshnet.or.jp
http://www1.meshnet.or.jp/~tasukeai/



広島県双三郡の安藤周治さんよりこんな大きな栗をたくさんいただきました。
「栗栽培は1月、雪の中での剪定作業からはじまります。春先の鶏糞やりに芽きりの施肥。梅雨時に花が満開になります。草刈りは秋の収穫までに4度ばかり。お天気にも恵まれてご覧のような実りとなりました。中国山地の村の秋を皆さんで味わってください。（お手紙より抜粋）」

今月のトピックス（10月）

●「コミュニティサポートセンター神戸」がスタート・・・・・・・・・・・・・・・・・★
●東灘区地域ケアネット会議の交流集会が開かれ、5名が参加する
●神戸市連合婦人会にて「私にもできるボランティア活動」と題して講演会
●ボランティアリーダー会で資生堂による美容講習を行う・・・・・・・・・・・・★
●区内の7大学にボランティア募集ポスターを掲示させてもらう
●多紀郡社会福祉連合会主催による「丹波の秋ふれあいツアー」が始まる・・・・★
●兵庫県民運動「ココロン・フェスティバル」パネルディスカッションに参加
●京都大原寂光院よりの色紙2，000体を被災地全域にお届けする・・・・★
●第29回常任幹事会を開催

活動レポート

◆丹波の秋ふれあいツアー

兵庫県多紀郡社会福祉連合会が東灘区仮設住宅支援活動として企画された「丹波の秋ふれあいツアー」が始まり、一回目は９月２８日、今田町へ行ってきました。

ぬけるような青空に恵まれ、参加者５１名は秋を満喫してきました。「陶の里」では湯呑みに各々思いを込めて絵付けをし、立杭焼や野菜を買ったり萩の花の咲く周辺を散策しました。

昼食は、ボランティアの方々が朝早くからご準備下さったお弁当をピクニック気分で美味しくいただきました。炊き込みご飯の上には初物のまつたけがのり、ご当地名産の黒豆や高野豆腐などとても豪華で感激しました。

栗拾いを楽しんだ後、デイサービスセンターで入浴やゲームなどでくつろぎ、栗と萩の花のおみやげと楽しい思い出と共に帰途につきました。

このようなイベントはとかく女性ばかりになりがちですが、今回は男性も多く参加されました。仮設の外に出て息抜きをするいい機会でもあり、ご招待いただいた今田町社協には感謝しています。

（ボランティア　圷　光子）

ボランティア訪問日誌から
通院介助



佐々木信子さん（仮名・84歳）は、震災時、大腿骨骨折の大怪我をされ、また62歳の娘さんを亡くされました。週２回車イスで近くの医院へ通っています。最初に行く接骨院では１時間ほど電気治療を受け、次は眼科、最後は内科に行きます。少し前に車イスからころんで、その恐怖感が残っているため、押す時はとても気を使います。佐々木さんは以前、お店をされていたそうで、お年の割にはしっかりしておられ、できるだけ自分のことは自分でするよう努力されています。近くのお地蔵様へお参りに行くのをとても楽しみにしておられるので、早くすんだときは必ず寄るようにしています。

（ボランティア　黒田ゆかり）



地蔵菩薩と童児の書

◆京都大原寂光院より色紙の贈呈

９月初旬、京都大原寂光院より「地蔵菩薩と童児の書」の色紙２０００体が被災者に向けて贈られてきました。

なげき多き世の人々の心に何とかして安らぎを与えようという目的で寂光院門主小松智光様が書かれた色紙です。

「なげき多き世の人々」を代表して一人の幼い童児が書かれています。あどけない童児が菩薩を依り仰ぎ、菩薩はやや首をかしげて静かな微笑みをたたえながら童児を見つめています。いつの世にも母が子を慈しみ、子が母を慕う姿は永遠であるように、ほのぼのと美しい姿に心が和みます。

この色紙は当ネットワークの他、姉妹団体その他の協力をいただき、被災地の皆様にお届けしました。地域福祉センターやふれあいセンターなどにも飾らせていただいています。

◆私、きれい？



１０月７日、当ネットワークのリーダー研修会に資生堂の美容部員２名をお招きし講習会が行われた。美しく装うことで元気になればということで、資生堂はお年寄り対象のメイクアップ教室をあちこちで開催されている。今回は、ボランティアも美しく元気に、そして私たちもお年寄りに何かアドバイスできればと講習に臨んだ。いつになく真剣？な１６名のボランティアの面々。指導の下、鏡に向かうこと約１時間、外見も気持ちも少し若返ったような気分になった。

活動ジグソー5 茶話やかタイム

地域型仮設の空き部屋（ふれあいルーム）を利用して、住民どうしの親睦と交流を行うのが茶話やかタイムです。仮設住民自身が運営しネットワークが協力しています。

現在、川井公園、手水公園、御影公園の３ヶ所の地域型仮設で月１回づつ行っています。

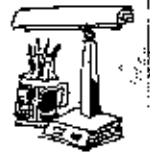
当日、１０時にはふれあいルームに待ちかねたように集まって来られます。１５名くらい集まると６畳の部屋は一杯になり自由に動けません。なるべく簡単にできる手芸を用意していきますが、教えるのもスタッフ２名では手が足りないぐらいです。それでも、１２時までにそれぞれ上手に作り上げ「次も楽しみに待っているからまた来てね」と握手でお別れを惜しむように帰って行かれます。手足が不自由でも、部屋の角に座って皆さんの笑顔や会話を楽しみに来られる方もいます。また、得意な方はそういう方にプレゼントしています。

（タイム担当ボランティア　安井久子）

９月の「移送・荷物運搬」が多いのは、CS神戸の事務所開設のため中古の机や椅子、ロッカーなどをあちこちから集めたためです。

	サービス内容	7月	8月	9月
家事	掃除・調理等	64	57	52
介護	介護一般・話し相手・様子伺い等	149	144	206
移送	車による通院・外出介助等	73	54	36
	車による引越・荷物運搬等	14	14	53
	小旅サービス	4	4	5
その他	室内の荷物運び・移動・その他	6	2	0
住宅改善	大工仕事・修理等	0	12	14
ふれあいセンター		29	19	19
茶話やかテント・パラソル		9	4	7
ふれあいサロン		6	6	8
心のふれあいの集い・心のオアシス		11	1	6
その他のイベント		4	2	4
サービス件数		369	319	410
一日平均サービス件数		15	12	15
参加ボランティア総数		675	553	613
一日平均ボランティア数		25	20	25
登録ボランティア数（累積）		1,287	1,311	1,337

11月のネットワーク・カレンダー　November／1996

日	月	火	水	木	金	土
					1	2 ♤"カーム" 小沢さん
3　活動休み	4　(祖)　活動休み	5 ♤ストローおじさん演奏会（深江浜仮設） ♡市民防災協定・現地会議	6	7 ♡ふれあいサロン月例ミーティング	8 ♡第18回東灘区ボランティア連絡会	9 ♤西須磨まちづくり懇談会
10　活動休み 	11 ♡NW月例リーダー会 ◆ふれあいサロン（浜中内科）	12 ◆ふれあいサロン（生中医院）	13 ♤大和郡山市沿道地区懇話会	14 ◆ふれあいサロン（川島クリニック）	15 ♡第57回東灘区地域ケアネットワーク会議 ◇市民活動地域支援システム研究会	16 
17　活動休み	18 ▲茶話やかパラソル（本庄中央仮設） ♡兵庫県福祉委員会 ♡市民・連合ボランティアネットワーク現地代表者会議	19 ♤関西学院大／社会学部 ◆ふれあいサロン（河原医院）	20 ◆ふれあいサロン（深山医院）	21 ◆ふれあいサロン（神尾小児科）	22 ◆ふれあいサロン（高瀬内科）	23(祖)　活動休み ♤日本社会学会（沖縄にて）
24　活動休み ♤日本社会学会（沖縄にて）	25 	26 ♤東京都新生活運動シンポジウム ◆ふれあいサロン（藤田外科）	27 ◆ふれあいサロン（有光医院）	28 ♡第4回東灘区ふれあいセンター交流会（本庄仮設にて） ◆ふれあいサロン（宝地クリニック） ♤神奈川県民生協視察	29	30

・このカレンダーは、東灘・地域助け合いネットワークの活動のなかで毎日の通常ワーク以外のスケジュールを載せています。
（右のようにマーク分けしています）
・通常のワークというのは、お話し相手、通院送迎・介助、車イス外出介助、薬取り代行、買い物代行、などです。
・あなたにできるボランティア活動を、一緒にやりませんか。
・お電話、お待ちしています！　☎843－4023

◆　ふれあいサロン（午後2時～3時30分）
医院の待合室で地域の高齢者の生きがいづくりとネットワークづくり。歌、体操、手芸など楽しみながらしています。
▲　茶話やかタイム（午前10時～12時）
昨年から区内仮設会場で通算65回行ってきた茶話やかテントは地域型仮設の空き部屋（ふれあいルーム）を使っての「茶話やかタイム」に移行しています。

♤　講演会、シンポジウムなどに出席
♡　各種会議に出席
♤　取材・来訪者予定
◇　他団体の企画・事業に協力

１０月１５日、ネットワークの新しい事業が始まります！

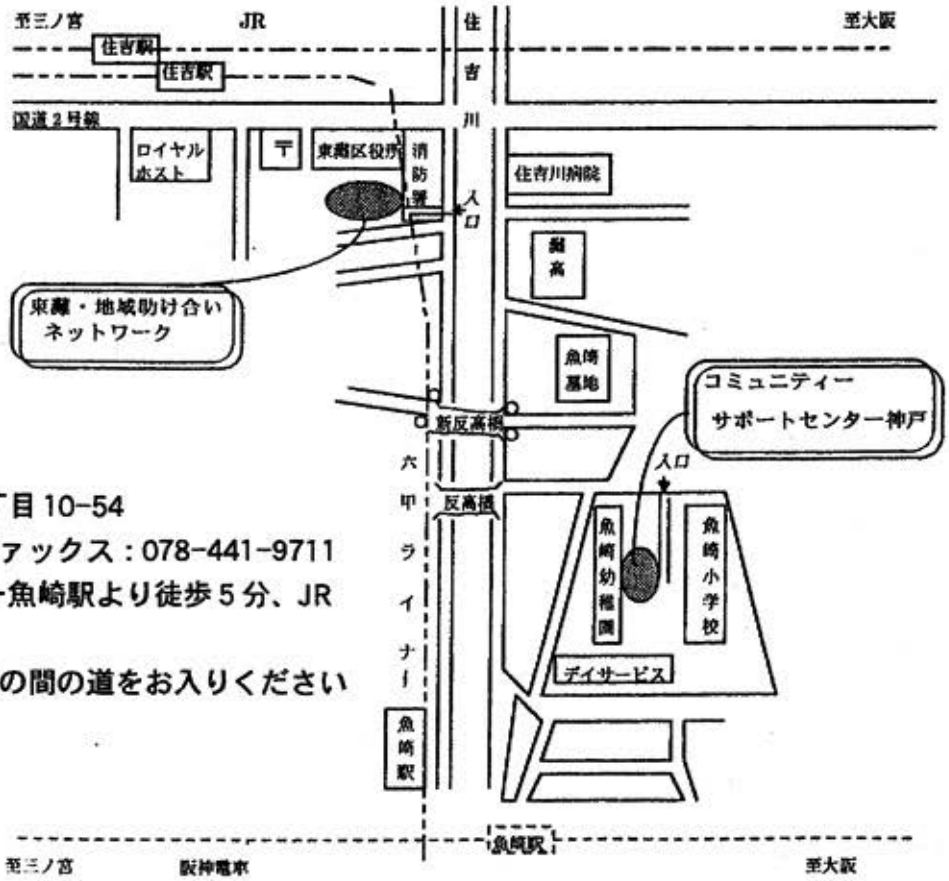
コミュニティサポートセンター神戸
（略称　ＣＳ神戸）

目的；神戸市東部およびその周辺において、地域の活性化と生きがい創出を支援するため、地元の人によるボランティア活動や地元を対象としたコミュニティ事業を創出することを目的とする。特に高齢者、障害者、震災失業者を中心とする地域住民への生きがい・仲間づくり・社会参加の機会提供を最優先する。

内容；地域におけるボランティア活動などの支援と『地元の人による、地元を対象とした』事業を支援する。特に高齢者、障害者、震災失業の方など自分のもてる技術を積極的に地域で役立たせる意欲のある地元の方々に対して「アトリエ工房」を設置し、快適な活動の場と機会を提供する。

方法；地元で、自転車修理・裁縫・手芸・家庭大工などの得意な方やグループを募集し、各々の発案とペースに合わせて楽しみながら仕事をすることを支援する。具体的には、共同の作業場「アトリエ工房」を設置し、修理や製作などに最適な環境を整える。また可能な限り、製作物の販売先や修理品の扱い先を開拓し、やりがいと若干の収入の確保を図る。

運営；コミュニティサポートセンター神戸
（東灘・地域助け合いネットワークを母体とする）



神戸市東灘区魚崎中町４丁目10-54
電話：078-441-0207　ファックス：078-441-9711
阪神魚崎駅、六甲ライナー魚崎駅より徒歩５分、JR住吉駅より徒歩１５分
＊魚崎幼稚園と魚崎小学校の間の道をお入りください

どんな人⇔こんな人

ボランティア



■平田芳郎（よしろう）
■65才
■京都府八幡市在住
■心理療法

■普段は大阪府枚方市で「くずは心理相談室」を開設しカウンセリングを行うほか自治体の職員研修の講師などをしている。震災直後から心のケアのために避難所などを訪ね、現在はふれあいサロンや仮設住宅でのグループ心理療法や個人へのカウンセリングを行っている。「震災で傷ついた心を癒すには長い時間がかかります。遠慮なくどんどん声をかけていただきたい。そして、共にいきいきとした人生を作っていきたい。」とご本人。ときおり事務所に届く絵手紙、おだやかな話しぶり。人の心をそっと包みこむ暖かさを感じる。

◆「ぱらボラ」で友人に会えました！

今月の初め、一枚のファクスが事務所に届きました。そこには、「ぱらボラ第４号で、娘時代からの友だちを見つけました。私の住所をぜひ伝えてください」とありました。このＫさんの友だちとは、「ボランティア訪問日誌」を書かれた沖タキさんです。Ｋさんはこのぱらボラをふれあいサロンを開いている本山中町の田中医院でご覧になったそうです。早速、沖さんにお伝えし、感激の再会となったそうです。沖さんがボランティアに参加されるきっかけも、実はぱらボラでした。こういう形で役立つなんて、本当に編集冥利につきます。うれしい！

９６年９月の新規登録ボランティアは

２６人

でした。９月１日発行の「広報こうべ」に当ネットワークのボランティア募集の記事が掲載され、電話問い合わせが１０数件ありました。それで登録された方が６名おられます。

活動維持のためにご協力ください

銀行振込　さくら銀行　甲南支店
普通口座　3994604
口座名義
東灘・地域助け合いネットワーク　中村順子

郵便振替口座　01140-9-88648
名称　東灘・地域助け合いネットワーク

９６年１１月から

祝日はお休み

になります。

ネットワークの活動は、今年４月以降は「日曜日のみ休み」でやっていますが、１１月より「祝日」も休日にすることになりました。平日に来られなくて、土曜日・祝日に活動されていたボランティアの皆さまには申し訳ありませんが、ネットワークが地元に根づいた活動を今後も続けていくための「日曜・祝日休み」体制です。なにとぞご了承ください。

編集後記

●実りの秋です。ぱらボラも少し実りはじめました。（村山メイ子）
●ようやく第５号となりました。まだまだこれからですが、“継続は力なり”がんばろう！（上村光代）
●表紙の栗はおいしかった。（竹内克仁）
●新しい事業がはじまりスタッフの異動もあった。さらなる飛躍・変化への予感がいっぱい。（原俊子）